

試験研究課題調査表（その1）

（個表-25）

研究課題	3 病害虫防除に関する研究		
研究課目	3-(1) 主要作物における病害虫相の把握		
主要項目	1-3) 野菜病害発生調査		
年度	1980	専門家名	稲葉忠興
研究機関名	ラスブルハス農試	カウンターパート名	Carlos Lasa Stella Garcia

1. 目的（協力目標）

現地における病害発生の実態を把握する。

2. 指導助言内容

野菜の病原糸状菌の分離・同定方法の指導

3. 成果（進捗状況）

8月から11月までの野菜病害を調査し、それぞれ新しくキュウリ1、タマネギ1、ハツカダイコン1、カブに1、リーキに1、レタスに2、ホウレンソウに1の病害の存在を確認した。既往の我孫子、手塚両専門家の調査結果にこれを加えて、野菜病害目録を作った。これはウルグァイ農水省の研究機関誌に発表する。

4. 残された問題点

重要病害の発生生態の解明

5. 今後の対応

継続

試験研究課題調査表（その1）

（個表-26）

研究課題	3. 病害虫防除に関する研究		
研究課目	3-(1) 主要作物における病害虫相の把握		
主要項目	2-1) 野菜虫害発生調査		
年度	1978	専門家名	鈴木忠夫
研究機関名	ラスブルハス農機	カウンターパート名	Jorge Bniozzo

1. 目的（協力目標）

現地における虫害発生の実態を把握する。

2. 指導助言内容

- 1) 研究施設の充実ならびに研究員増加について提言。
- 2) 適切な防除指針確立についての提言。

3. 成果（進捗状況）

ナス科野菜の害虫として30種、タマネギ、ニンニク害虫として4種、ウリ科野菜害虫として4種、アブラナ科野菜害虫として10種の存在を確認した。

4. 残された問題点

発生予察技術の完成、ウイルスが非常に多いことからアブラムシおよびスリップスの発生消長、また別にトマトの新害虫である Scrobipal の研究が急がれる。

5. 今後の対応

トマト、ピーマンのウイルス防除のために、アブラムシ、スリップスの発生消長の調査を行なう
（ウルグァイ側）

試験研究課題調査表（その1）

（個表-27）

研究課題	3. 病害虫防除に関する研究		
研究課目	3.-(1) 主要作物における病害虫相の把握		
主要項目	2-2) 野菜害虫発生調査		
年 度	1980	専門家名	山田 偉雄
研究機関名	ラスブル農試	カウンターパート名	Saturnino Núñez

1. 目的（協力目標）

現地における虫害発生の実態を把握する。

2. 指導助言内容

- 1) 害虫類の探索に関する指導。
- 2) 主要作物の害虫リスト一覧表の補完に関する指導。

3. 成 果（進捗状況）

前に調査された鈴木専門家の成績にあわせてウルグァイ国における主要野菜の主要害虫の一覧表を作成した。

4. 残された問題点

- 1) 夏季の害虫相の探索のみで、春、秋、冬の害虫の実態把握ができない。
- 2) 害虫の種類は日本と異っており、種名の確認は分類の専門家でないといむづかしい。
- 3) 天敵相の調査

5. 今後の対応

調査を継続（ウルグァイ側で）

試験研究課題調査表（その1）

（個表-28）

研究課題	3. 病害虫に関する研究協力		
研究課目	3.-(1) 主要病害虫の抽出		
主要項目	アブラムシ類及アザミウマ類の発生変動の解析		
年 度	1980	専門家名	山田 偉雄
研究機関名	ラスブルハス農試	カウンターパート名	Saturnino Núñez

1. 目的（協力目標）

ウイルス防除に最も関係の深いアブラムシ類、及びアザミウマ類の発生変動を調査する。

2. 指導助言内容

発生変動解析に関する統計的手法の助言

3. 成 果（進捗状況）

- 1) アザミウマ類の粘着トラップ誘引個体とタマネギ寄生個体の相関関係
- 2) アザミウマ類モモアブアブラムシ発生と気候（雨量、気温）との関係についてある程度明らかとなった。

4. 残された問題点

1. 年次変動の主要因
- 2 ウィルス病の発生とアザミウマ類、アブラムシ類発生との関係

5. 今後の対応

調査を継続（ウルグァイ側で）

試験研究課題調査表（その1）

（個表-29）

研究課題	3. 病虫害防除に関する研究		
研究課目	3-(4) 薬剤防除試験		
主要項目	主要野菜における農薬散布実態調査		
年 度	1980	専 門 家 名	山 田 偉 雄
研究機関名	ラスプルハス農試	カウンターパート名	Saturnino Núñez

1. 目 的（協力目標）
ウルグァイの農薬の使用実態把握
2. 指導助言内容
主要野菜の病虫害防除暦、農薬安全使用について、日本の例を教示。
3. 成 果（進捗状況）
各作物に実際使われている農薬を調査したところ、エンドリン、パラチオン等残留毒のあるものも安価ということから、かなり使われており、将来の指導方法について検討する必要性を認めた。
4. 残された問題点
防除暦を作成する必要性から、撤布回数まで含めてさらに実態調査が必要。
5. 今後の対応
ウ側の将来の問題として提言にとどめる。

試験研究課題調査表（その1）

（個表-30）

研究課題	3. 病虫害防除に関する研究		
研究課目	3-(4) 薬剤防除試験		
主要項目	タマネギ圃におけるネギアザミウマの薬剤防除試験		
年 度	1980	専 門 家 名	山 田 偉 雄
研究機関名	ラスプルハス農試	カウンターパート名	Saturnino Núñez

1. 目 的（協力目標）
各種薬剤の防除効果の判定
2. 指導助言内容
薬剤の効果判定法に関する指導助言
3. 成 果（進捗状況）
ネギアザミウマに対する有効農薬が明らかになった。
4. 残された問題点
5. 今後の対応
終 了

試験研究課題調査表(その1)

(個表-31)

研究課題	病害虫防除に関する研究		
研究課目	3(-5) 個別主要病害虫対策		
主要項目	野菜のウイルスの同定		
年 度	1979~1980	専門家名	手塚 信夫
研究機関名	ラスプルハス農試	カウンターパート名	Carlos Lasa

1. 目的(協力目標)

被害の大きい、トマト、ピーマン、ウリ類についてウイルスの同定をする。

2. 指導助言内容

野菜ウイルスの同定法の指導

3. 成果(進捗状況)

ウイルスについて、トマトでTSWV、CMV、TMVをピーマンでTSWVをカボチャでCMV、SMVをメロンでWMV、SMVをキュウリでCMVを同定した。

4. 残された問題点

ウルグァイでは、TSWVが多いので、この防除の研究が今後必要である。

5. 今後の対応

TSWVの防除対策について、媒介虫であるアザミウマの防除を含めて研究を進める必要がある。

(日・ウ共同研究)

試験研究課題調査表(その1)

(個表-32)

研究課題	3. 病害虫防除に関する研究		
研究課目	3-(5) 個別主要病害虫対策		
主要項目	ニンニクの生育異常株の発生原因の解析		
年 度	1980	専門家名	稲葉 忠興
研究機関名	ラスプルハス農試	カウンターパート名	Saturnino Núñez Carlos Lasa

1. 目的(協力目標)

ニンニクの第1葉が第2葉にまきこまれ、第2葉の先端が第3葉に巻きこまれ、順次上位葉が次々にまきこまれて、全体として生育異常を呈する株が多発するので、その原因を解析する。

2. 指導助言内容

研究の組み立てについて指導

3. 成果(進捗状況)

ニンニクの生育異常はAceria tulipae (ダニ)の被害であることを確認した。試験場貯蔵りん茎のうち6.7.7%のりん片にこの虫を観察した。1りん片中のAceria tulipaeの数によって生育異常の発現程度が異なる。

4. 残された問題点

防除方法の検討

5. 今後の対応

試験継続(ウ側で継続)

試験研究課題調査表（その1）

（個表-33）

研究課題	3. 病害虫防除に関する研究	専門家名	山田 偉雄
研究課題目	3-(5) 個別的主要害虫対策	カムンターパート名	Saturnino Núñez
主要項目	(1) トマト圃におけるウイルス病発生防止試験 (2) タマネギ圃におけるネギアザミウマ被害許容密度調査		
年 度	1980		
研究機関名	ラスブルハス農試		

1. 目的（協力目標）

1. ウイルス病の発生防止
2. アザミウマの被害とタマネギの収量との関係を見る。

2. 指導助言内容

- 1) 浸透性殺虫剤を使った発生防止試験に関する助言
- 2) シルバーマルチ、シルバーストライプ入り、黒色マルチ、シルバーテープ等によるアブラムシ、アザミウマ類回避試験の指導助言
- 3) T. tabaci の被害密度調査法について助言

3. 成果（進捗状況）

- ① 1) については薬剤防除体系の一例が示された。
- ② 2) については現在試験中。
- ③ 3) についてはネギアザミウマの密度と被害との関係の1例が示された。

4. 残された問題点

1. 被害密度調査はさらに検討を要する。
2. アブラムシ類、アザミウマ類の同時防除
3. 発生時期別の被害許容密度
4. 除草によるアザミウマ発生抑止効果の検討

5. 今後の対応

試験継続（ウ側により）

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-1)

研究課題		主要作型 (5.6月まき2月どり) 適合系統の選抜に関する研究		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	△ △ ○ △ ○	
	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表			
	③. 専門家の指導なし				
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		
		①. 供与済である (主要機材のみ)	ア. 利用している イ. 利用していない	○ ⑦. 未設置、未組立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし	
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である イ. 供与の予定なし			
ウルグアイ側の対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)		○
		イ. なし	⑦. 今後建設する ⑧. 今後建設予定なし		○
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない		△
		イ. なし	⑦. 今後造成する ⑧. 造成予定なし		
	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している イ. その他借上げほ場			
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり		△
		イ. なし	⑦. 今後措置する ⑧. 今後もなし		○
進捗状況		①. 完了した ②. 継続中である ③. 未着手である			○
総合判定	判定の段階		判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				○
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-2)

研究課題		(タマネギ) 採種に関する研究		(該当するものに○印)	
技術 協 力 内 容	調査内容			判定	
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○
イ. 試験の実施(調査含む)			△		
ウ. 試験成績集計			○		
エ. 試験成績分析			△		
オ. 報告書作成・発表			○		
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計			
		イ. 試験の実施(調査含む)			
		ウ. 試験成績集計			
		エ. 試験成績分析			
③. 専門家の指導なし					
研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計			
		イ. 試験の実施(調査含む)			
		ウ. 試験成績集計			
		エ. 試験成績分析			
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している		○	
		イ. 利用していない		○	
		⑦. 未設置、未組立			
	②. 未供与である	①. 不足部品あり			
		②. 故障している			
		③. 利用の必要なし			
ウグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある		⑦. 整備されている	
		イ. なし		①. 未整備である(機材等)	
	②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある		⑦. 今後建設する	
		イ. なし		①. 今後建設予定なし	
	③. その他における試験会場	ア. 農家ほ場を利用している		⑦. 整備されている	
		イ. その他借上げほ場		①. 未整備で利用できない	
	④. 予算措置	ア. ある		⑦. 今後造成する	
		イ. なし		①. 造成予定なし	
	進捗状況	①. 完了した			
		②. 継続中である		○	
③. 未着手である					
総合判定	判定の段階			判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)			○	
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-3)

研究課題		りん酸の効果確認試験		(該当するものに○印)				
技術協	専門家派遣	調査内容		判定				
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	△ △ ○ ○ ○
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	△ △ ○ ○ ○
			③. 専門家の指導なし					
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	⑦. 未設置、未組立	④. 不足部品あり	②. 故障している	③. 利用の必要なし	○
			イ. 利用していない					
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	④. 未整備である(機材等)	⑦. 今後建設する	④. 今後建設予定なし	○	
		イ. なし						○
②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている	④. 未整備で利用できない	⑦. 今後造成する	④. 造成予定なし		△	
	イ. なし							
③. その他における試験会場	ア. 農家は場を利用している	イ. その他借上げ会場						
④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある	④. 不足のため支障あり	⑦. 今後措置する	④. 今後もなし		△	
	イ. なし						○	
進捗状況	①. 完了した	②. 継続中である	③. 未着手である				○	
総合判定	判定の段階		判定					
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)							
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)							
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どわりの効果があった)						○	
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)							
⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)								

試験研究課題調査表（その2）

（個表-4）

研究課題		タマネギに対するりん酸施肥法		（該当するものに○印）	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①: 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより （ウ側研究者が独自で実施できる内容）	ア. 試験設計 イ. 試験の実施（調査含む） ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
力内容	研修員受入	①: 日本における研修内容によって （ウ側研究者が独自で実施できる内容）	ア. 試験設計	<input type="radio"/>	
			イ. 試験の実施（調査含む） ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	<input type="radio"/>	
力内容	機材供与 （主要機材のみ）	①: 供与済である	ア. 利用している	<input type="radio"/>	
			イ. 利用していない	<input type="radio"/>	
力内容	機材供与 （主要機材のみ）	②: 未供与である	ア. 今後供与予定である	<input type="radio"/>	
			イ. 供与の予定なし	<input type="radio"/>	
ウグアイ側の 対応状況	①: 実験室・施設	ア. ある	ア. 整備されている	<input type="radio"/>	
		イ. なし	イ. 未整備である（機材等）	<input type="radio"/>	
	②: 試験ほ場 （試験場内）	ア. ある	ア. 整備されている	<input type="radio"/>	
		イ. なし	イ. 未整備で利用できない	<input type="radio"/>	
	③: その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している	ア. 今後建設する	<input type="radio"/>	
		イ. その他借上げほ場	イ. 今後建設予定なし	<input type="radio"/>	
	④: 予算措置	ア. ある	ア. 十分ある	<input type="radio"/>	
		イ. なし	イ. 不足のため支障あり	<input type="radio"/>	
進捗状況	①: 完了した		ア. 今後措置する	<input type="radio"/>	
	②: 継続中である		イ. 今後もし	<input type="radio"/>	
	③: 未着手である				
総合判定	判定の段階			判定	
	①: 実績が目標を大きく上回った（予想以上の大きな効果があった）				
	②: 実績が目標を多少上回った（予想以上の効果があった）				
	③: 実績が目標とほぼ同じであった（予想どおりの効果があった）				
	④: 実績が目標より多少下回った（予想以下の効果があった）			<input type="radio"/>	
⑤: 実績が目標を大きく下回った（予想以下に少ない効果があった）					

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-5)

研究課題		タマネギの作型に関する調査		(該当するものに○印)			
技術協	専門家派遣	調査内容		判定			
		①. 専門家との共同研究、共同調査をしたことにより、 (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
			ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
力内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	①. 未設置、未組立	②. 不足部品あり	③. 故障している	④. 利用の必要なし
			イ. 利用していない	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)
力内容	ウグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			イ. なし	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり
力内容	ウグアイ側の 対応状況	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			イ. なし	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり
力内容	ウグアイ側の 対応状況	③. その他における試験ほ場	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			イ. なし	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり
力内容	ウグアイ側の 対応状況	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			イ. なし	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり
力内容	ウグアイ側の 対応状況	⑤. 進捗状況	①. 完了した	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			②. 継続中である	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
力内容	ウグアイ側の 対応状況	⑤. 進捗状況	③. 未着手である	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
力内容	ウグアイ側の 対応状況	総合判定	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
力内容	ウグアイ側の 対応状況	総合判定	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし
			⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-6)

研究課題		ニノクの耐玉割れ系統の選抜		(該当するものに○印)		
技術協力内容	調査内容			判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○	
イ. 試験の実施(調査含む)				△		
ウ. 試験成績集計				○		
エ. 試験成績分析				△		
オ. 報告書作成・発表				△		
カ. 試験結果の活用						
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計				
		イ. 試験の実施(調査含む)				
		ウ. 試験成績集計				
		エ. 試験成績分析				
		オ. 報告書作成・発表				
		カ. 試験結果の活用				
③. 専門家の指導なし						
研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計				
		イ. 試験の実施(調査含む)				
		ウ. 試験成績集計				
		エ. 試験成績分析				
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している		○		
		イ. 利用していない				
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である				
		イ. 供与の予定なし				
ウグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある				
		イ. なし				
	②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある				
		イ. なし				
	③. その他における試験会場	ア. 農家ほ場を利用している				
		イ. その他借上げほ場				
	④. 予算措置	ア. ある				
		イ. なし				
	進捗状況	①. 完了した				
		②. 継続中である				○
		③. 未着手である				
	総合判定	判定の段階			判定	
①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)						
②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)						
③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)					○	
④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)						
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)						

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-7)

研究課題		ニンニクの播種期に関する研究		(該当するものに○印)				
技術協	専門家派遣	調査内容		判定				
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	○ △ ○ △ △
力内	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
			イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし	
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし		○	
			②. 未供与である	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	○	
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	イ. なし	⑦. 今後建設する	⑧. 今後建設予定なし	○		
		ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし	△
	③. その他における試験ほ場		ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場				
	④. 予算措置	ア. ある	イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	△ ○
①. 完了した		②. 継続中である	③. 未着手である				○	
総合判定	判定の段階		判定					
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)							
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)							
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)						○	
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)							
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)								

試験・研究課題調査表(その2)

(個表一 8)

研究課題		加工用トマトの栽培改善に関する研究		(該当するものに○印)		
技術協力内容	調査内容			判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○	
イ. 試験の実施(調査含む)			○			
ウ. 試験成績集計			○			
エ. 試験成績分析			○			
オ. 報告書作成・発表			○			
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計				
		イ. 試験の実施(調査含む)				
		ウ. 試験成績集計				
		エ. 試験成績分析				
		オ. 報告書作成・発表				
③. 専門家の指導なし						
研修員受入		①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計			
			イ. 試験の実施(調査含む)			
			ウ. 試験成績集計			
			エ. 試験成績分析			
	オ. 報告書作成・発表					
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している				
		イ. 利用していない		○		
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である				
		イ. 供与の予定なし				
		ウ. 未設置、未組立				
ウングアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある		○		
		イ. なし		○		
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある		△		
		イ. なし		○		
	③. その他における試験ほ場		ア. 農家ほ場を利用している			
			イ. その他借上げほ場			
	④. 予算措置	ア. ある		△		
		イ. なし		○		
		ウ. 十分ある				
		エ. 不足のため支障あり				
	進捗状況	①. 完了した		○		
		②. 継続中である				
③. 未着手である						
総合判定	判定の段階			判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)					
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)					
	③. 実績が目標とはほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)					
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)			○		
⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)						

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-9)

研究課題		トマトの品種検討		(該当するものに○印)	
技術協	内容	調査内容		判定	
		専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	<input type="radio"/>
	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表			
	③. 専門家の指導なし				
	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している イ. 利用していない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		②. 未供与である	ア. 今後供与予定である イ. 供与の予定なし	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		イ. なし	⑦. 今後建設する ⑧. 今後建設予定なし	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		イ. なし	⑦. 今後造成する ⑧. 造成予定なし	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	③. その他における試験会場		ア. 農家ほ場を利用している イ. その他借上げほ場		
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		イ. なし	⑦. 今後措置する ⑧. 今後もなし	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	進捗状況	①. 完了した ②. 継続中である ③. 未着手である			<input type="radio"/>
総合判定	判定の段階		判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-10)

研究課題		果菜類の育苗改善		(該当するものに○印)			
技術協	調査内容	調査内容		判定			
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
専門家派遣	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
		③. 専門家の指導なし					
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	⑦. 未設置、未組立	①. 不足部品あり	②. 故障している	③. 利用の必要なし	○
		イ. 利用していない					
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし				○
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	①. 未整備である(機材等)			
		イ. なし	⑦. 今後建設する	①. 今後建設予定なし			○
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている	①. 未整備で利用できない	⑦. 今後造成する	①. 造成予定なし	△
		イ. なし					
	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場				
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある	①. 不足のため支障あり			○
		イ. なし	⑦. 今後措置する	①. 今後もなし			○
進捗状況	①. 完了した						
	②. 継続中である					○	
	③. 未着手である						
総合判定	判定の段階		判定				
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)						
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)						
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)						
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)					○	
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)							

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-11)

研究課題		タマネギの長期育苗に関する試験		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	○ ○ ○ ○ ○	
	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表			
	③. 専門家の指導なし				
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	
	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している イ. 利用していない	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	○ ⑦. 未設置、未組立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし
②. 未供与である			ア. 今後供与予定である イ. 供与の予定なし		
	ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)	○
イ. なし			⑦. 今後建設する ⑧. 今後建設予定なし	△ ○	
②. 試験会場 (試験場内)		ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない	○	
		イ. なし	⑦. 今後造成する ⑧. 造成予定なし		
	③. その他における試験会場	ア. 農家畑場を利用している イ. その他借上げ畑場			
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり	○	
		イ. なし	⑦. 今後措置する ⑧. 今後もなし	○	
進捗状況	①. 完了した ②. 継続中である ③. 未着手である				
総合判定	判定の段階			判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)			○	
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表（その2）

（個表-12）

研究課題		ラスブルハス試験場圃場の土壌特性の解明		(該当するものに○印)		
技術協力内容	調査内容			判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○	
イ. 試験の実施(調査含む)			○			
ウ. 試験成績集計			○			
エ. 試験成績分析			△			
オ. 報告書作成・発表			△			
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計				
		イ. 試験の実施(調査含む)				
		ウ. 試験成績集計				
		エ. 試験成績分析				
③. 専門家の指導なし						
研修員受入		①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計			
			イ. 試験の実施(調査含む)			
	ウ. 試験成績集計					
	エ. 試験成績分析					
	オ. 報告書作成・発表					
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している				
		イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	○		
			①. 不足部品あり			
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である		○		
		イ. 供与の予定なし				
		⑦. 整備されている		○		
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	①. 未整備である(機材等)		○	
		イ. なし	⑦. 今後建設する			
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	①. 今後建設予定なし		○	
		イ. なし	⑦. 整備されている		△	
	③. その他における試験ほ場	ア. ある		①. 未整備で利用できない		
		イ. なし		⑦. 今後造成する		
	④. 予算措置	ア. ある		①. 造成予定なし		
		イ. なし		ア. 農家ほ場を利用している		
		ア. ある		イ. その他借上げほ場		
		イ. なし		⑦. 十分ある		
	進捗状況	①. 完了した		①. 不足のため支障あり		○
		②. 継続中である		⑦. 今後措置する		
③. 未着手である		①. 今後もなし		○		
総合判定	判定の段階			判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)					
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)					
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)			○		
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)					
	⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表（その2）

（個表-13）

研究課題		野菜栽培農家の圃場土壌特性調査		(該当するものに○印)				
技術協	専門家派遣	調査内容		判定				
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表			
③. 専門家の指導なし								
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
		ア. 利用している	イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし	
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし	
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし	
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する	⑩. 今後建設予定なし	
		ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし	
	③. その他における試験ほ場		ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし
	④. 予算措置	ア. ある	イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	
		ア. ある	イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	
	進捗状況	①. 完了した						
		②. 継続中である						
		③. 未着手である						
総合判定	判定の段階		判定					
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)							
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)							
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)			○				
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)							
⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)								

試験研究課題調査表（その2）

（個表-14）

研究課題		土壌の物理的性質の改善		（該当するものに○印）		
技術協力内容	調査内容			判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより （ウ側研究者が独自で実施できる内容）	ア. 試験設計		○	
イ. 試験の実施（調査含む）			○			
ウ. 試験成績集計			○			
エ. 試験成績分析			○			
オ. 報告書作成・発表						
②. 専門家の指導・助言のみによって （ウ側研究者が独自で実施できる内容）		ア. 試験設計				
		イ. 試験の実施（調査含む）				
		ウ. 試験成績集計				
③. 専門家の指導なし		エ. 試験成績分析				
		オ. 報告書作成・発表				
研修員受入		①. 日本における研修内容によって （ウ側研究者が独自で実施できる内容）	ア. 試験設計			
	イ. 試験の実施（調査含む）					
	ウ. 試験成績集計					
	エ. 試験成績分析					
機材供与 （主要機材のみ）	①. 供与済である	ア. 利用している				
		イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立		○	
			⑧. 不足部品あり			
	②. 未供与である	⑨. 故障している				
		⑩. 利用の必要なし				
		ア. 今後供与予定である		○		
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある		⑦. 整備されている		
		イ. なし		⑧. 未整備である（機材等）		
	②. 試験ほ場 （試験場内）	ア. ある		⑦. 今後建設する		
		イ. なし		⑧. 今後建設予定なし		
	③. その他における試験ほ場	ア. ある		⑦. 整備されている		
		イ. なし		⑧. 未整備で利用できない		
	④. 予算措置	ア. ある		⑦. 今後造成する		
		イ. なし		⑧. 造成予定なし		
		ア. 農家ほ場を利用している				
		イ. その他借上げほ場				
	進捗状況	①. 完了した				
		②. 継続中である		○		
③. 未着手である						
総合判定	判定の段階			判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った（予想以上の大きな効果があった）					
	②. 実績が目標を多少上回った（予想以上の効果があった）					
	③. 実績が目標とほぼ同じであった（予想どおりの効果があった）			○		
	④. 実績が目標より多少下回った（予想以下の効果があった）					
⑤. 実績が目標を大きく下回った（予想以下に少ない効果があった）						

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-15)

研究課題		除草剤試験法の確立		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	○ ○ ○ ○	
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表				
③. 専門家の指導なし					
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		
		①. 供与済である	ア. 利用している イ. 利用していない	○	
	②. 未供与である		⑦. 未設置、未組立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし		
			ア. 今後供与予定である イ. 供与の予定なし		
ウルグアイ側の対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)	○	
		イ. なし	⑨. 今後建設する ⑩. 今後建設予定なし	○	
	②. 試験現場(試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない	△	
		イ. なし	⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし		
	③. その他における試験現場		ア. 農家ほ場を利用している イ. その他借上げほ場		
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり	△	
イ. なし		⑨. 今後措置する ⑩. 今後もなし	○		
進捗状況	①. 完了した				
	②. 継続中である				○
	③. 未着手である				
総合判定	判定の段階		判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どわりの効果があった)				
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)			○	
⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表(その2)

(個表-16)

研究課題		馬鈴しょ栽培に関する調査		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし	
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		イ. なし	⑧. 未整備である(機材等) ⑨. 今後建設する ⑩. 今後建設予定なし		<input type="radio"/>
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		イ. なし	⑧. 未整備で利用できない ⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし		
	④. 予算措置	ア. ある	ア. 農家ほ場を利用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		イ. なし	イ. その他借上げほ場 ⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり ⑨. 今後措置する ⑩. 今後もし		
	進捗状況	①. 完了した			<input type="radio"/>
		②. 継続中である			
③. 未着手である					
総合判定	判定の段階			判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)			<input type="radio"/>	
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)				
⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-17)

研究課題		馬鈴しょ二期作用栽培品種の選抜		(該当するものに○印)				
技術協	専門家派遣	調査内容		判定				
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
			②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし	
			イ. 利用していない	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する	⑩. 今後建設予定なし		
		イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし		
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もし
		イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし		
	③. その他における試験ほ場	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし		
		イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし		
④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もし			
	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし			
進捗状況	①. 完了した							
	②. 継続中である							
	③. 未着手である							
総合判定	判定の段階				判定			
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)							
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)							
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				○			
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)							
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)								

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-18)

研究課題		馬鈴しょのウイルスの同定		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	○ ○ ○ ○	
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表				
③. 専門家の指導なし					
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	○ ○ ○ ○ ○	
		①. 供与済である (主要機材のみ)	ア. 利用している イ. 利用していない	○ ○ ○ ○ ○	
	②. 未供与である		ア. 今後供与予定である イ. 供与の予定なし	○ ○	
ウルグアイ側の対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)	○	
		イ. なし	⑦. 今後建設する ⑧. 今後建設予定なし	○	
	②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない	△	
		イ. なし	⑦. 今後造成する ⑧. 造成予定なし	○	
	③. その他における試験会場		ア. 農家ほ場を利用している イ. その他借上げほ場		
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり	△	
イ. なし		⑦. 今後措置する ⑧. 今後もなし	○		
進捗状況	①. 完了した ②. 継続中である ③. 未着手である			○	
総合判定	判定の段階		判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)		○		
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)					

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-19)

研究課題		馬鈴しょウイルス病の検出・同定		(該当するものに○印)			
技術協	調査内容	調査内容		判定			
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
専門家派遣	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
		③. 専門家の指導なし					
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
			ア. 利用している	イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし
		②. 未供与である		ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし		
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)		
		ア. ある	イ. なし	⑦. 今後建設する	⑧. 今後建設予定なし		
	②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない		
		ア. ある	イ. なし	⑦. 今後造成する	⑧. 造成予定なし		
	③. その他における試験会場		ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場			
	④. 予算措置	ア. ある	イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり		
		ア. ある	イ. なし	⑦. 今後措置する	⑧. 今後もなし		
	進捗状況	①. 完了した					
②. 継続中である							
③. 未着手である							
総合判定	判定の段階				判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)						
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)						
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どかりの効果があった)				○		
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)						
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)							

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-20)

研究課題		野菜の病害発生調査		(該当するものに○印)	
技術 協 力 内 容	調査内容		判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○
イ. 試験の実施(調査含む)				○	
ウ. 試験成績集計				○	
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		エ. 試験成績分析		○	
		オ. 報告書作成・発表			
		ア. 試験設計			
③. 専門家の指導なし					
研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○	
		イ. 試験の実施(調査含む)		○	
		ウ. 試験成績集計		○	
		エ. 試験成績分析		○	
		オ. 報告書作成・発表		○	
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している		○	
		イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	○	
	②. 未供与である		⑧. 不足部品あり		
			⑨. 故障している		
			⑩. 利用の必要なし		
			ア. 今後供与予定である	○	
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている		
		イ. なし	⑧. 未整備である(機材等)	○	
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 今後建設する		
		イ. なし	⑧. 今後建設予定なし	○	
	③. その他における試験ほ場		⑦. 整備されている		△
			⑧. 未整備で利用できない		
	④. 予算措置		⑦. 今後造成する		
			⑧. 造成予定なし	○	
			ア. 農家ほ場を利用している		
			イ. その他借上げほ場		
		ア. ある	⑦. 十分ある	○	
		イ. なし	⑧. 不足のため支障あり		
			⑦. 今後措置する		
			⑧. 今後もし	○	
進捗状況	①. 完了した				
	②. 継続中である				○
	③. 未着手である				
総合判定	判定の段階			判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				○
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
	⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)				

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-21)

研究課題		野菜病害発生調査		(該当するものに○印)									
技術協	専門家派遣	調査内容		判定									
		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表							
力	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表						
			ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表						
容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし					
			ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する	⑩. 今後建設予定なし					
ウ	グ	アイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし				
				ア. ある	イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし				
側	の	対	応	状	況	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	
							ア. ある	イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	
進	捗	状	況	①. 完了した	②. 継続中である	③. 未着手である							
				①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)	⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)					
総合判定		判定の段階		判定									

試験研究課題調査表（その2）

（個表-22）

研究課題		野菜病害の発生調査		（該当するものに○印）	
技術協力内容	調査内容			判定	
	技術協力内容	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより （ウ側研究者が独自で実施できる内容）	ア. 試験設計	
イ. 試験の実施（調査含む）					○
ウ. 試験成績集計					○
エ. 試験成績分析					○
オ. 報告書作成・発表					
②. 専門家の指導・助言のみによって （ウ側研究者が独自で実施できる内容）				ア. 試験設計	
		イ. 試験の実施（調査含む）			
		ウ. 試験成績集計			
		エ. 試験成績分析			
		オ. 報告書作成・発表			
		③. 専門家の指導なし			
研修員受入		①. 日本における研修内容によって （ウ側研究者が独自で実施できる内容）	ア. 試験設計		○
	イ. 試験の実施（調査含む）			○	
	ウ. 試験成績集計			○	
	エ. 試験成績分析			○	
	オ. 報告書作成・発表			○	
機材供与 （主要機材のみ）	①. 供与済である	ア. 利用している			
		イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立	○	
			⑧. 故障している	○	
	⑨. 利用の必要なし				
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である			
		イ. 供与の予定なし			
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている		
		イ. なし	⑧. 未整備である（機材等）	○	
			⑨. 今後建設する		
		⑩. 今後建設予定なし	○		
	②. 試験ほ場 （試験場内）	ア. ある	⑦. 整備されている	△	
		イ. なし	⑧. 未整備で利用できない		
			⑨. 今後造成する		
		⑩. 造成予定なし	○		
	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している			
		イ. その他借上げほ場			
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある	○	
			⑧. 不足のため支障あり		
イ. なし		⑨. 今後措置する			
		⑩. 今後もなし	○		
進捗状況	①. 完了した				
	②. 継続中である			○	
	③. 未着手である				
総合判定	判定の段階			判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った（予想以上の大きな効果があった）				
	②. 実績が目標を多少上回った（予想以上の効果があった）				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった（予想どおりの効果があった）			○	
	④. 実績が目標より多少下回った（予想以下の効果があった）				
	⑤. 実績が目標を大きく下回った（予想以下に少ない効果があった）				

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-23)

研究課題		農家圃場調査による虫害発生 の 消長		(該当するものに○印)		
技術協力内容		調査内容		判定		
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
③. 専門家の指導なし						
④. 研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表
⑤. 機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	⑦. 未設置、未組立	⑧. 不足部品あり	⑨. 故障している	⑩. 利用の必要なし
		イ. 利用していない	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし		
⑥. ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する	⑩. 今後建設予定なし
		イ. なし	ア. 整備されている	イ. 未整備で利用できない	⑦. 今後造成する	⑧. 造成予定なし
	②. 試験圃場 (試験場内)	ア. ある	ア. 農家圃場を利用している	イ. その他借上げ圃場		
		イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし
	④. 予算措置	ア. ある				
		イ. なし				
	⑦. 進捗状況	①. 完了した				
		②. 継続中である				
③. 未着手である						
⑧. 総合判定	判定の段階		判定			
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)					
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)					
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				○	
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)					
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)						

試験研究課題調査表(その2)

(個表-24)

研究課題		害虫の発生調査		(該当するものに○印)	
技術協力内容	調査内容		判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		○
イ. 試験の実施(調査含む)				○	
ウ. 試験成績集計				○	
エ. 試験成績分析				○	
オ. 報告書作成・発表					
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計			
		イ. 試験の実施(調査含む)			
		ウ. 試験成績集計			
		エ. 試験成績分析			
③. 専門家の指導なし					
研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計			
		イ. 試験の実施(調査含む)			
		ウ. 試験成績集計			
		エ. 試験成績分析			
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している			○
		イ. 利用していない	⑦. 未設置、未相立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし		
	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である			
		イ. 供与の予定なし	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等) ⑨. 今後建設する ⑩. 今後建設予定なし		○
		ア. 整備されている			△
		イ. 未整備で利用できない	⑦. 今後造成する ⑧. 造成予定なし		○
ウングアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等) ⑨. 今後建設する ⑩. 今後建設予定なし		○
		イ. なし	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない ⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし		○
	②. 試験会場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない ⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし		○
		イ. なし	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない ⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし		○
	③. その他における試験会場		ア. 農家民場を利用している イ. その他借上げ民場		
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり ⑨. 今後措置する ⑩. 今後もなし		○
		イ. なし	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり ⑨. 今後措置する ⑩. 今後もなし		
	進捗状況	①. 完了した			
②. 継続中である					
③. 未着手である					
総合判定	判定の段階			判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)			○	
	④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)				
	⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)				

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-25)

研究課題		アブラムシ類及びアザミウマ類の発生変動の解析 (該当するものに○印)		
技術 協 力 内 容	専門家派遣	調査内容		判定
		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計
	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)			
	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)			
	③. 専門家の指導なし			
	研修員受入			
	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)			
	機材供与 (主要機材のみ)	ア. 利用している	イ. 利用していない	
	①. 供与済である			
	②. 未供与である			
	ウルグアイ側の 対応状況	ア. ある	イ. なし	
	①. 実験室・施設			
	②. 試験ほ場 (試験場内)			
	③. その他における試験ほ場			
	④. 予算措置			
	進捗状況			
	①. 完了した			
	②. 継続中である			
	③. 未着手である			
	総合判定	判定の段階		判定
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)			
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)			
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)			○
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)			
	⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)			

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-26)

研究課題		主要野菜における農薬散布実態調査		(該当するものに○印)					
技術協	専門家派遣	調査内容		判定					
		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表			
力	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
		②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である		ア. 利用している	イ. 利用していない	ウ. 未設置、未組立	エ. ①. 不足部品あり ②. 故障している ③. 利用の必要なし	オ.	○ ○
		②. 未供与である		ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし	ウ. 整備されている	エ. ①. 未整備である(機材等) ②. 今後建設する ③. 今後建設予定なし	オ.	○ ○
ウ	ルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設		ア. ある	イ. なし	ウ. 整備されている	エ. ①. 未整備である(機材等) ②. 今後建設する ③. 今後建設予定なし	オ.	○ ○
		②. 試験ほ場 (試験場内)		ア. ある	イ. なし	ウ. 整備されている	エ. ①. 未整備で利用できない ②. 今後造成する ③. 造成予定なし	オ.	△ ○
		③. その他における試験ほ場		ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場	ウ. 十分ある	エ. ①. 不足のため支障あり ②. 今後措置する ③. 今後もなし	オ.	○
		④. 予算措置		ア. ある	イ. なし	ウ. 十分ある	エ. ①. 不足のため支障あり ②. 今後措置する ③. 今後もなし	オ.	○
進捗状況		①. 完了した		②. 継続中である		③. 未着手である		○	
総合判定		判定の段階		判定		①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)		○	
		②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)				③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)		○	
		④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)				⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)			

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-27)

研究課題		タマネギ圃におけるネギアザミウマの薬剤防除試験		(該当するものに○印)
技術 協 力 内 容	専門家派遣	調査内容		判定
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	○ ○ ○ ○
	②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		
	③. 専門家の指導なし			
	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表	
	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している イ. 利用していない	○
		②. 未供与である	ア. 今後供与予定である イ. 供与の予定なし	
ウルグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)	○
		イ. なし	⑦. 今後建設する ⑧. 今後建設予定なし	
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない	△
		イ. なし	⑦. 今後造成する ⑧. 造成予定なし	○
	③. その他における試験ほ場		ア. 農家ほ場を利用している イ. その他借上げほ場	
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり	△
		イ. なし	⑦. 今後措置する ⑧. 今後もなし	
	進捗状況	①. 完了した ②. 継続中である ③. 未着手である		○
総合判定	判定の段階		判定	
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)			
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)			
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)		○	
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)			
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)				

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-28)

研究課題		野菜のウイルスの同定		(該当するものに○印)	
技術協力内容	調査内容		判定		
	専門家派遣	①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	○	
イ. 試験の実施(調査含む)			○		
ウ. 試験成績集計			○		
エ. 試験成績分析			○		
オ. 報告書作成・発表			○		
②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)		ア. 試験設計			
		イ. 試験の実施(調査含む)			
		ウ. 試験成績集計			
		エ. 試験成績分析			
③. 専門家の指導なし					
研修員受入		①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	○	
			イ. 試験の実施(調査含む)	○	
	ウ. 試験成績集計		○		
	エ. 試験成績分析		○		
	オ. 報告書作成・発表		○		
機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	○		
		イ. 利用していない	○		
	②. 未供与である	⑦. 未設置、未組立	○		
		⑧. 不足部品あり			
		⑨. 故障している			
		⑩. 利用の必要なし			
ウグアイ側の 対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている		
		イ. なし	⑧. 未整備である(機材等)	○	
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 今後建設する		
		イ. なし	⑧. 今後建設予定なし	○	
	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している	⑦. 整備されている	△	
		イ. その他借上げほ場	⑧. 未整備で利用できない		
	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 今後造成する		
		イ. なし	⑧. 造成予定なし	○	
		⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	○	
	進捗状況	①. 完了した			
②. 継続中である		○			
③. 未着手である					
総合判定	判定の段階		判定		
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)		○		
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
	⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)				

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-29)

研究課題		ニンニクの生育異常株の発生原因の解析		(該当するものに○印)					
技術協	専門家派遣	調査内容		判定					
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	○ ○ ○ ○ ○	
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表		
			②. 専門家の指導・助言のみによって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	⑦. 未設置、未組立	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する	⑩. 今後建設予定なし	○ ○	
			イ. 利用していない	①. 不足部品あり	②. 故障している	③. 利用の必要なし			
ウ	グ	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である	④. 今後建設予定なし	⑤. 整備されている	⑥. 未整備で利用できない	⑦. 今後造成する	⑧. 造成予定なし	○ ○
			イ. 供与の予定なし						
アイ	側の	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備である(機材等)	⑨. 今後建設する	⑩. 今後建設予定なし	○	
			イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後建設予定なし	⑩. 今後建設予定なし	○	
ウ	グ	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし	○	
			イ. なし	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし	○	
アイ	側の	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし	○	
			イ. その他借上げほ場	⑦. 整備されている	⑧. 未整備で利用できない	⑨. 今後造成する	⑩. 造成予定なし	○	
ウ	グ	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	△	
			イ. なし	⑦. 十分ある	⑧. 不足のため支障あり	⑨. 今後措置する	⑩. 今後もなし	△	
進捗状況		①. 完了した		②. 継続中である		③. 未着手である		○	
総合判定		判定の段階		判定					
		①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)							
		②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)							
		③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)						○	
		④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)							
		⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)							

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-30)

研究課題		(1) トマト圃におけるウイルス病発生防止試験 (2) タマネギ圃におけるネギアザミウマ被害許容密度調査		(該当するものに○印)						
技術協	専門家派遣	調査内容		判定						
		ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表	○	○	○	○
力	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表			
			ア. 試験設計	イ. 試験の実施(調査含む)	ウ. 試験成績集計	エ. 試験成績分析	オ. 報告書作成・発表			
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している	⑦. 未設置、未組立	①. 不足部品あり	②. 故障している	③. 利用の必要なし			○
			イ. 利用していない	ア. 今後供与予定である	イ. 供与の予定なし					○
ウ	ル	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている	①. 未整備である(機材等)				○	
			イ. なし	⑦. 今後建設する	①. 今後建設予定なし					
グ	アイ	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている	①. 未整備で利用できない				△	
			イ. なし	⑦. 今後造成する	①. 造成予定なし				○	
側	の	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している	イ. その他借上げほ場						
			ア. ある	⑦. 十分ある	①. 不足のため支障あり				○	
の	対	④. 予算措置	イ. なし	⑦. 今後措置する	①. 今後もなし				○	
			①. 完了した	②. 継続中である	③. 未着手である					○
進	捗	状	況							
総	合	判	定	判定の段階				判定		
				①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)						
				②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)						
				③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				○		
				④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)						
⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)										

試験研究課題調査表(その2)

(個表-31)

研究課題		簡易施設栽培の検討		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		
力内	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		
			イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		
内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している		
			イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし	○
ウ	ル	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である		○
			イ. 供与の予定なし		○
グ	アイ	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)	
			イ. なし	⑨. 今後建設する ⑩. 今後建設予定なし	
側	の	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない	
			イ. なし	⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし	
対	応	③. その他における試験ほ場	ア. 農家ほ場を利用している		
			イ. その他借上げほ場		
状	況	④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり	
			イ. なし	⑨. 今後措置する ⑩. 今後もなし	
進捗状況		①. 完了した ②. 継続中である ③. 未着手である			
総合判定		判定の段階		判定	
		①. 実績が目標を大きく上回った(予想以上の大きな効果があった)			
		②. 実績が目標を多少上回った(予想以上の効果があった)			
		③. 実績が目標とほぼ同じであった(予想どおりの効果があった)			
		④. 実績が目標より多少下回った(予想以下の効果があった)			
		⑤. 実績が目標を大きく下回った(予想以下に少ない効果があった)			

試験研究課題調査表 (その2)

(個表-32)

研究課題		作期と病害虫発生状況調査		(該当するものに○印)	
技術協	専門家派遣	調査内容		判定	
		①. 専門家との共同研究・共同調査をしたことにより (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計 イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		○
力内容	研修員受入	①. 日本における研修内容によって (ウ側研究者が独自で実施できる内容)	ア. 試験設計		
			イ. 試験の実施(調査含む) ウ. 試験成績集計 エ. 試験成績分析 オ. 報告書作成・発表		
力内容	機材供与 (主要機材のみ)	①. 供与済である	ア. 利用している		
			イ. 利用していない	⑦. 未設置、未組立 ⑧. 不足部品あり ⑨. 故障している ⑩. 利用の必要なし	○
力内容	機材供与 (主要機材のみ)	②. 未供与である	ア. 今後供与予定である		○
			イ. 供与の予定なし		○
ウルグアイ側の対応状況	①. 実験室・施設	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備である(機材等)		
		イ. なし	⑨. 今後建設する ⑩. 今後建設予定なし		
	②. 試験ほ場 (試験場内)	ア. ある	⑦. 整備されている ⑧. 未整備で利用できない		
		イ. なし	⑨. 今後造成する ⑩. 造成予定なし		
③. その他における試験ほ場		ア. 農家は場を利用している イ. その他借上げほ場			
④. 予算措置	ア. ある	⑦. 十分ある ⑧. 不足のため支障あり			
	イ. なし	⑨. 今後措置する ⑩. 今後もなし			
進捗状況	①. 完了した				
	②. 継続中である				
	③. 未着手である				
総合判定	判定の段階				判定
	①. 実績が目標を大きく上回った (予想以上の大きな効果があった)				
	②. 実績が目標を多少上回った (予想以上の効果があった)				
	③. 実績が目標とほぼ同じであった (予想どおりの効果があった)				
	④. 実績が目標より多少下回った (予想以下の効果があった)				
	⑤. 実績が目標を大きく下回った (予想以下に少ない効果があった)				

.....

.....

.....

.....

.....

.....

•

•

.....

.....

.....

.....

2. 日本研修に関するアンケート調査表



表 1 研究協力プロジェクト・研修員受入れ部門アンケート調査表

来日年度	氏名	日本での研修で特に良かったと思える点を挙げて下さい。	
1979	Cesar R. Maeso Castro	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究業務を行う施設、設備 ○ 指導教官の献身と世話 	
研修時の所属・職名	ラスプルハス試験場 国家野菜プロジェクト長		
現在の所属・職名	同上 兼 副場長		
日本での研修機関	期 間	研究指導教官名	日本での研修中、当面した困難や問題点を挙げて下さい。
野菜試験場	1979. 7. 28 ～ 12. 4	大 沢 山 岸	
日本で行なった研究は帰国後、		日本での研修期間は、	
A 非常に役立った	A ちよりと良かった	その他、研修全般について意見があれば書いて下さい。	
B かなり役立った	B 長すぎた (6 ヶ月くらい)		
C どちらとも言えない	C 短かすぎた (1 ヶ月くらい)		
D 役立たなかった	D 非常に少なかった		
研修受入れ先の研究設備は、		研修中の生活費等の支給は、	
A 非常に満足できるものだった	A 十分であった	上記 4 項目についてコメントがあれば書いて下さい。	
B だいたい満足できるものだった	B 普通であった		
C やや不備であった	C やや少なかった		
D 全く不備であった	D 非常に少なかった		
言葉、文字、習慣が異なるために日本人とコミュニケーションがでなかつた事により留学中孤独に落ちこんだ。 これらが健康を害し、留学期間をまっとうできなかつた主な要因であった。			

TABLA.- ENCUESTA SOBRE CURSOS DE ENTRENAMIENTO DEL PROYECTO DE COOPERACION EN INVESTIGACION.

Año de llegada a Japón	Nombre		Que le gustó más del curso de entrenamiento en Japón.
1979	César R. Maeso Castro		
Area de trabajo y cargo en el momento del entrenamiento.			
Proyecto Mortálizas - JEFE Nacional.			
Area de trabajo y cargo en el momento actual.			
Subdirector de E.E.G. las brujas.			
JEFE Nacional Proyecto Mortálizas.			
Organización de entrenamiento en Japón.	Período	Nombre de los instructores.	Mencione las dificultades y problemas que encontró durante su entrenamiento en Japón.
Después de volver a Uruguay los entridios hechos en Japón han sido:	1979.7.28 ~ 12.4	Oosawa y Yamaguisi	Comunicacion imposible con el pueblo Japones debido a idioma, escritura y costumbres diferentes, lo que provoca aislamiento del becario. Esto fue motivo principal de no haber podido completar mi periodo de beca y el deterior de mi salud.
	Tiempo de entrenamiento en Japón fue:		
A Muy útil.	A Adecuado.		Escriba si tiene alguna opinión sobre el entrenamiento en Japón.
B Algo útil.	B Demasiado largo El período ideal es * 6 mds		
C Desconozco su utilidad.	C Demasiado corto El período ideal es *		
D Nada útiles.			
Las comodidades en la organización de entrenamiento fueron:	El pago de la Beca durante el entrenamiento fue:		
A Muy satisfactorios.	A Suficiente.		
B Poco satisfactorios.	B Normal.		
C Algo deficientes.	C Algo insuficiente.		
D Muy deficientes.	D Muy insuficiente.		
Escriba si tiene algún comentario sobre las 4 preguntas de arriba.			

* Período en meses.

Escriba en letra de imprenta.

TABLA.- ENCUESTA SOBRE CURSOS DE ENTRENAMIENTO DEL PROYECTO DE COOPERACION EN INVESTIGACION.

Año de Llegada a Japón.	1979	Nombre	César R. Maeso Castro
Estudios hechos en Japón (haga una lista detallada).		Trabajos de investigación que está llevando a cabo actualmente (haga una lista detallada).	
Cultivo de meristemo en ajo. Breeding en tomates y pimiento.		Selección y mejoramiento en hortalizas manedo de cultivos horticolas.	

Escriba en letra de imprenta.

表 1 研究協力プロジェクト研修員受入れ部門アンケート調査表

来日年度	氏名	日本での研修で特に良かったと思ふ点を挙げて下さい。	
1980	Carlos M. Crisci Pisano	研修は多くの情報や注釈と論文などの良い支えがあったので、すぐれた体験であった。種馬給しよの栽培、貯蔵技術を主要テーマとした理論的な技術研修。	
研修時の所属・職名	ラスプルス試験場	種馬給しよ栽培に感化する要素と生育、品質、収量に影響する要素は特に興味あった。	
国家馬給しよプログラム長 研究、検定	ラスプルス試験場		
現在 所属・職名	ラスプルス試験場研究部		
国家馬給しよプログラムの指導も続けている。			
日本での研修機関	期 間	研究指導教官名	日本での研修中、当面した困難や問題点を挙げて下さい。
婦恋馬給しよ原々種農場 (7ヶ月) 広島、北海道、九州の原々種 農場も訪問した。	1980.5.6 ~1980.12.20	田中 智 堀尾 英弘	日本に滞在している間、大きな問題や困難は無かった。 婦恋試験場長、指導教官、ほとんどの日本人による過大な親切と配慮でわずかな 困難は乗り越えた。
日本で行なった研究は帰国後、	日本での研修期間は、		
④ 非常に役立った	④ ちようど良かった		
B かなり役立った	B 良さすぎた (ヶ月くらい)		
C どちらとも言えない	C 短かすぎた (ヶ月くらい)		
D 役立たなかった			
④ 研修受入先の研究設備は、	研修中の生活費等の支給は、		
非常に満足できるものだった	A 十分であった		
B だいたい満足できるものだった	③ 普通であった		
C やや不備であった	C やや少なかった		
D 全く不備であった	D 非常に少なかった		
上記4項目についてコメントがあれば書いて下さい。			
その他、研修全般について意見があれば書いて下さい。 完全な研修と機会の有益性は指導教官や他の試験場の技術者による研修指導の おかげで実現した。			

TABLA. -- ENCUESTA SOBRE CURSOS DE ENTRENAMIENTO DEL PROYECTO DE COOPERACION EN INVESTIGACION.

Año de llegada a Japón 1980	Nombre Carlos M. Crisci Pisano	Que le gustó más del curso de entrenamiento en Japón. Que el entrenamiento fue eminentemente práctico y bien respaldado por disertaciones y abundante información y comentarios. Que los trabajos técnicos como las disertaciones cubrieron la mayoría de los temas acerca de la producción, almacenamiento y tecnología de papa-semilla. Una atención especial fue puesta en los factores que influencian sobre el cultivo para semilla y sus efectos sobre crecimiento, rendimiento y calidad. Mencione las dificultades y problemas que encontró durante su entrenamiento en Japón.
Area de trabajo y cargo en el momento del entrenamiento. JEFE del programa Nacional de papa. Investigación y certificación Area de trabajo y cargo en el momento actual. JEFE de departamento de investigación. Se continúa liderando el programa nacional de papa	Período 1980.4.15 ~ 12.20 Nombre de los instructores Dr. Satoshi Tanaka Dr. Hidehiro Horio (Tsumagoi station)	No existieron dificultades ni problemas mayores durante toda la estadía en Japón. Las dificultades de orden menor fueron ampliamente superadas por la excelente disposición y amabilidad del director de la estación experimental de Tsumagoi, los técnicos contrapartes y del pueblo Japonés en su totalidad.
Organización de entrenamiento en Japón. Tsumagoi potato foundation stock seed farm, durante 7 meses. Visitas a otras seed farms experimental stations de Kyushu, Hokkaido y Hiroshima. Después de volver a Uruguay los entridios hechos en Japón han sido: A) Muy útil. B) Algo útil. C) Desconozco su utilidad. D) Nada útiles.	Tiempo de entrenamiento en Japón fue: A) Adecuado. B) Demasiado largo El período ideal es * C) Demasiado corto El período ideal es *	Escriba si tiene alguna opinión sobre el entrenamiento en Japón.
Las comodidades en la organización de entrenamiento fueron: A) Muy satisfactorios. B) Poco satisfactorios. C) Algo deficientes. D) Muy deficientes.	El pago de la Beca durante el entrenamiento fue: A) Suficiente. B) Normal. C) Algo insuficiente. D) Muy insuficiente.	
Escriba si tiene algún comentario sobre las 4 preguntas de arriba. * Período en meses. Escriba en letra de imprenta.	Lugar de trabajo: Ministerio de agricultura y pesca, centro de investigaciones agrícolas "Alberto Boerger", estación experimental "las Brujas". Uruguay	

TABLA.- ENCUESTA SOBRE CURSOS DE ENTRENAMIENTO DEL PROYECTO DE COOPERACION EN INVESTIGACION:

Año de llegada a Japón.	Nombre	Carlos M. Crisci Pisano
<p>1980</p> <p>Estudios hechos en Japón (haga una lista detallada).</p>	<p>Trabajos de investigación que está llevando a cabo actualmente (haga una lista detallada).</p>	
<p><u>Papa</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Situación general del cultivo en Japón. - Organización y producción de semilla fundación. - Tecnología para la producción de semilla. - Características de los virus que afectan al cultivo. - Relaciones virus-vector. - Translocación de los virus. - Diagnósis de enfermedades a virus. - Reacciones serológicas. - Microscopia electrónica. - Purificación de los virus. - Producción de antisueros (virus y bacterias) - Terapia de las enfermedades a virus. - Medidas de control de virus. - Sistemas de control de enfermedades y plagas. - Preparación de medios de cultivo. 	<p><u>Papa</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Introducción y selección de variedades adaptables. - Inducción a la brotación, especialmente por medios físicos. - Técnicas de multiplicación rápida. - Sistemas de multiplicación de papa semilla. - Detección e identificación de virus. - Sistemas de control de enfermedades y plagas. - Preparación de antisueros para virus y bacterias. - Resistencia varietal a los virus. 	

Escriba en letra de imprenta.

表 1 研究協力プロジェクト研修員受入部門アンケート調査表

来日年度	氏名		日本での研修で特に良かったと思う点を挙げて下さい。
1979	Carlos I. Lasa Salaverria		研修、学習したテーマはウルグァイに必要であり、かつ興味のあるものであった。
研修時の所属・職名			
ラスプルハス試験場			
植物防疫研究室 研究技官			
現在の所属・職名			
同上			
日本での研修機関	期	研究指導教官名	日本での研修中、当面した困難や問題等を挙げて下さい。
福忍馬鈴しよ原々種農場 野菜試験場 長崎県試験場	1979. 6. 14 ～ 12 13	田中 智 秋元 秋元 手塚 信夫	○ウルグァイの同僚と考えあえる機会が少なかった。 ○家族を同判できなかつた。 ○自分の車を利用できなかつた。
日本で行なった研究は帰国後、	日本での研修期間は、		
④ 非常に役立った	④	ちよりと良かった	その他、研修全般について意見があれば書いて下さい。
B かなり役立った	B	長すぎた (ヶ月くらい)	
C どちらとも書えない	C	短かすぎた (ヶ月くらい)	
D 役立たなかつた	D		
研修受入先の研究設備は、	研修中の生活費等の支給は、		
④ 非常に満足できるものだった	④	十分であった	大変よかつたので、できるなら次の機会で理論面を深める研修をしたい。
B だいたい満足できるものだった	B	普通であった	
C やや不備であった	C	やや少なかつた	
D 全く不備であった	D	非常に少なかつた	
上記4項目についてコメントがあれば書いて下さい。			

TABLA.- ENCUESTA SOBRE CURSOS DE ENTRENAMIENTO DEL PROYECTO DE COOPERACION EN INVESTIGACION.

Año de llegada a Japón	Nombre		Que le gustó más del curso de entrenamiento en Japón.
1979	Carlos I. Lasa Salaverria		La practicidad de los temas estudiados. El poder elegir los temas que realmente interesan, segun las necesidades de Uruguay.
Area de trabajo y cargo en el momento del entrenamiento.			
Fitopatología-Tecnico Asistente			
Area de trabajo y cargo en el momento actual.			
Fitopatología-Tecnico Asistente			
Organización de entrenamiento en Japón.	Período	Nombre de los instructores.	Mencione las dificultades y problemas que encontró durante su entrenamiento en Japón.
Tsumagoi potato stock seed farm veg. and ornamental research station Nagasaki ken exp. station	1979.6.14 ~ 12.13	Tanaka, S.; Akimoto; Tezuka, N.	1. Falta de comunicación con compañeros de Uruguay para intercambiar ideas. 2. No ir acompañado por la familia. 3. No disponer de vehículo propio.
A Muy útil. B Algo útil. C Desconozco su utilidad. D Nada útiles.	A Adecuado. B Demasiado largo El período ideal es * C Demasiado corto El período ideal es *		
Las comodidades en la organización de entrenamiento fueron:	El pago de la Beca durante el entrenamiento fue:		Escriba si tiene alguna opinión sobre el entrenamiento en Japón.
A Muy satisfactorios. B Poco satisfactorios. C Algo deficientes. D Muy deficientes.	A Suficiente. B Normal. C Algo insuficiente. D Muy insuficiente.		Como primera etapa es muy bueno, debería existir una segunda etapa, para poder profundizar en la parte teórica.
Escriba si tiene algún comentario sobre las 4 preguntas de arriba.			

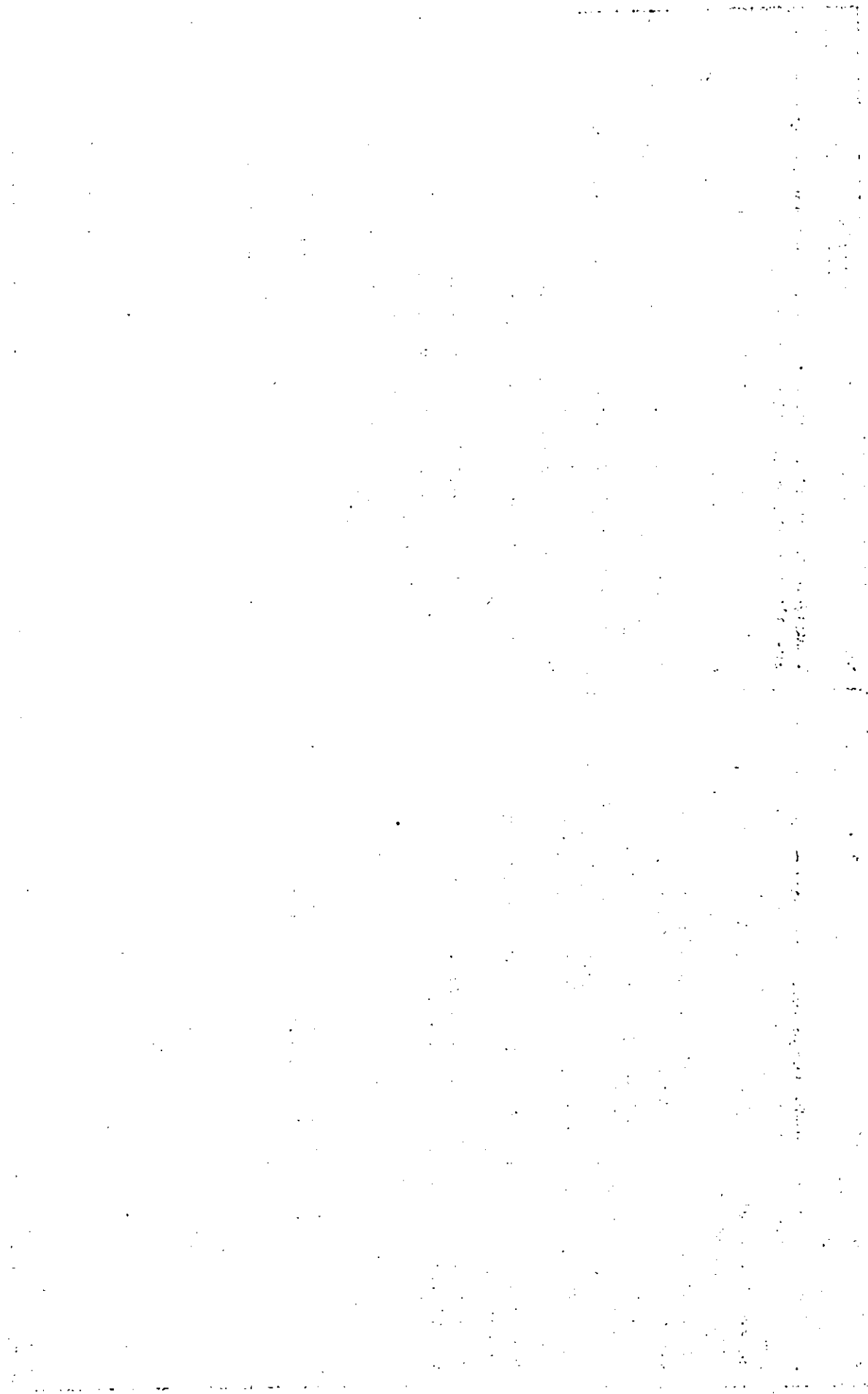
* Período en meses.

Escriba en letra de imprenta.

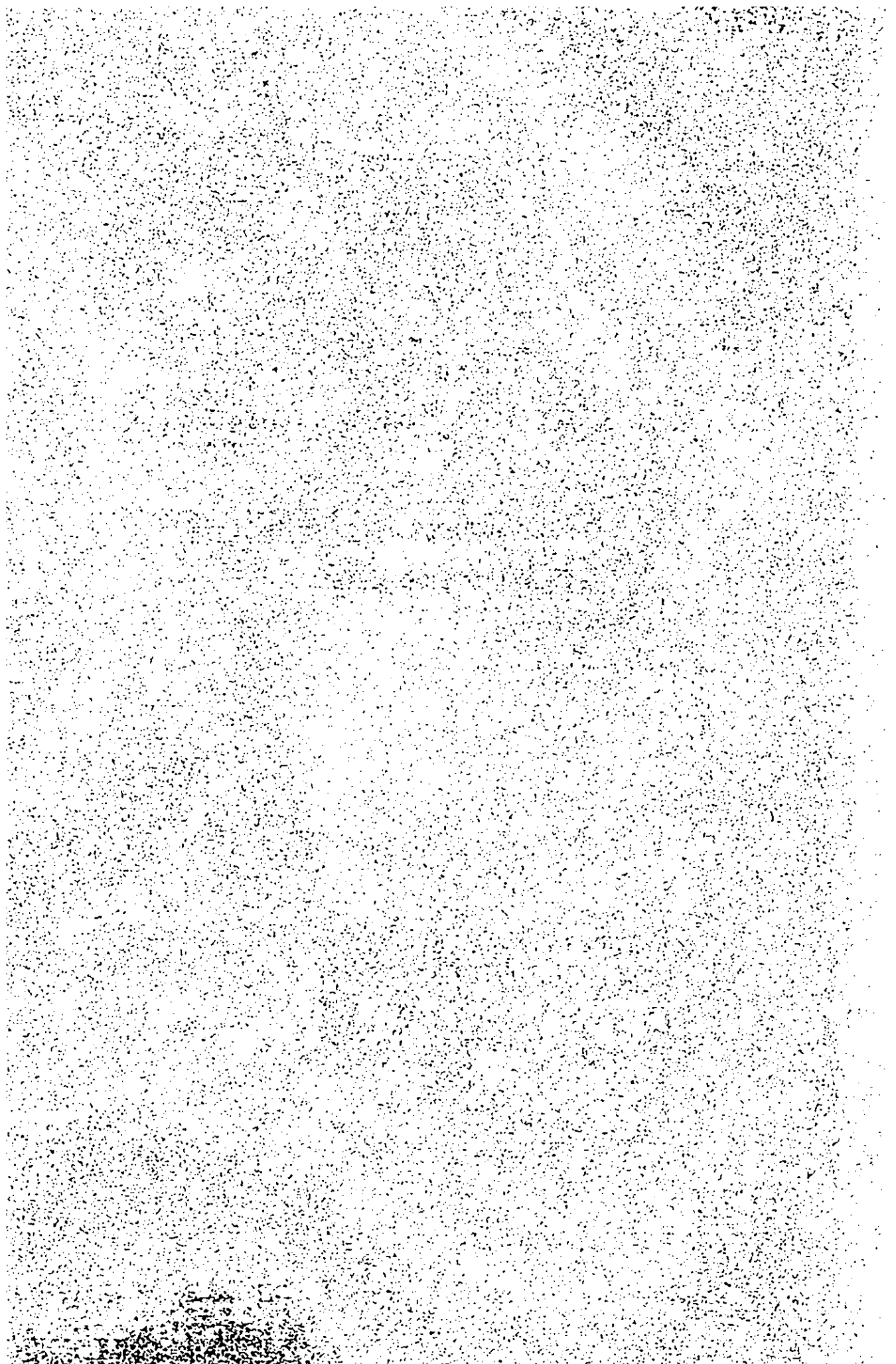
TABLA.- ENCUESTA SOBRE CURSOS DE ENTRENAMIENTO DEL PROYECTO DE COOPERACION EN INVESTIGACION.

Año de llegada a Japón.	Nombre	1979	Carlos I. Lasa Salaverria
Estudios hechos en Japón (haga una lista detallada).	Trabajos de investigación que está llevando a cabo actualmente (haga una lista detallada).		
<p>Deteccion de virus: Microscopio electrónico, sepología, pruebas biológicas</p> <p>Identificación de virus ititodos biológicoal, métodos fisiologicos, observacion de formas y tamanos.</p> <p>Control de enfermedades avirus; uso de variedades resistentes, epoca de SIEMBRA; LUGAR de cultivo, uso de semilla "Libre de virus", tuber-unit, raleado de plantas enfermas, control de vectores, termoterapia, cultivo de meris temos.</p> <p>Evaluacion de VARIEDADES DE PEPINO EN SU RESISTENCIA ac mildiu pulverniento.</p> <p>Tecnicas en baoteriologia: ecolobia, aislacion, identificación, multiplicacion, aluacenate, inoculacion, dilución.</p> <p>Tecnicas en micolosis: Aislacion e identificación.</p> <p>Charlas de caracter teórico.</p> <p>Giras de estudio visitando: institutos de investigacion, cooperativas de productores, carpos de productores.</p>	<p>Identificacion de virus en cultivas hortícolas.</p> <p>Evaluacion de variedades de tomate resistentes al TSWV, a campo x en invernaculo.</p> <p>Seleccion de lineas de pimiento resistentes a enfermedades virósicas.</p> <p>Evaluacion de la transmision del TSWV por el tubérculo de papa.</p> <p>Desinfeccion de almacios para plantras hortícolas.</p> <p>Evaluacion de fungicidas en el control de podredumbre basal del ajo.</p> <p>Evaluacion de fungicidas en el control de roxa del ajo.</p> <p>Evaluacion de termoterapia como forma de control ar el virus del mosaico del ajo, enajo.</p> <p>Evaluacion de fungicidas y variedades enel control del oídio del zapallo.</p>		

Escfiba en letra de imprenta.



3. 供与機材の利用状況、管理状況、不足部品の調査表及び今後の機材要請リスト



(1) 供与機材利用状況、管理状況調査表

番号	機 材 名	数量	単価(千円)	金額(千円)	設置場所	利用状況	管理状況
1-	(1978年度)						
○1	乗用トラクター	1台	924	924	1	A	A○
2	石灰散布機	1#	152	152	1	C	B
3	ロータリー	1#	242	242	1	A	A
4	ブラウ	1#	112	112	1	B	B
5	リバーンブルブラウ	3#	112	337	1	B	B
6	オフセットブラウ	1#	180	180	1	B	B
7	ディスクハロー	1#	231	231	1	B	B
8	移植機	1#	257	257	1	C	B
9	ブロードキャスター	1#	140	140	1	C	B
10	K字形ローラー	1#	637	637	1	D-4	B
11	カルチベーター、リッジー	1#	156	156	1	B	B
12	フレールモア	1#	216	216	1	A	A
13	ロータリーモア	1#	257	257	1	A	A
14	馬鈴しよ掘取機	1#	219	219	1	A	A
15	ダンプトレーラー	1#	367	367	1	A	A
16	三葉機	1式	109	109	1	B	B
○17	パワーテイラー	2台	338.4	676.8	1	A	A○
18	トレーラー	2#	164	328	1	A	A
○19	パワーテイラー(小型)	2#	184.8	369.6	1	A	A○
20	平らおマルチ	1#	261.2	261.2	1	D-1-4	B
21	移植機	2#	242	484	1	D-4	B
22	トレーラ	2#	113.5	227	1	A	A
23	2条タマネギ移植機	1#	1071	1071	1	C	B
24	2条馬鈴しよ植付機	2#	463	926	1	C	B
25	種子精選調製機	1#	1950	1950	1	D-4	B
26	電子コピー	1#	716	716	1	A	A
27	タイプライター	1#	188.95	188.95	1	A	A
○28	ステーションワゴン	2#	1309	2618	1	A	A○
2-	(1979年度)						
1	ロータリーハロー	1#	647.9	647.9	1	A	A
2	心土磁粉機	1#	190	190	1	A	A
3	塊茎単位植付機	1#	900	900	1	C	B
4	馬鈴しよ掘取機	1#	148.72	148.72	1	C	B
5	畝間用ミスト散水装置	1#	375.25	375.25	1	A	A
6	プレハブ恒温室	3#	1550	4650	1	A	A

番号	機 材 名	数量	単価(千円)	金額(千円)	I※設置場所	II※利用状況	III※管理状況
7	低温恒温槽	2台	708 512	1417.024	1	A	A
8	デジタル直示秤	1 "	345	345	1	B	A
9	ライマンの比重計	1 "	145	145	1	B	A
10	電子温度計	1 "	111.150	111.150	1	B	A
11	蒸留水製造装置	1 "	290	290	1	A	A
12	実体顕微鏡	1 "	485	485	1	A	A
13	顕 微 鏡	1 "	1861	1861	1	A	A
14	カ メ ラ	3 "	169.35	508.05	1	B	A
15	PHメーター	1 "	142.5	142.5	1	B	A
16	上皿直示天秤	2 "	370	740	1	B	A
17	オーバーヘッドプロジェクター	1 "	182.5	182.5	1	B	A
18	スライド映写機	1 "	176.7	176.7	1	A	A
19	リコピー	1 "	759.506	759.506	1	A	A
○20	マイクロバス	1 "	3838.6	3838.6	1	A	A○
○21	小型トラック	1 "	1198.5	1198.5	1	A	A○
22	灌 水 施 設	1式	26700	26700	1	A	A

(備考)

1 設置場所

1. (E. E. G. L. B) ラス・ブルハス農業試験場
2. (E. E. del N) デル・ノルテ試験場
3. (E. E. G. S) 柑橘試験場(=サルト試験場)

2 使用状況

A: 十分利用している(常時使用)

B: 活用している(平均的使用)

C: 時々活用している

D: ほとんど活用していない

D-1: スペアパーツ不足のため

D-2: 故障中のため

D-3: 研究テーマが終了したため

D-4: これからの研究テーマに使用のため

3 管理状況

A: 特に良く管理している

B: 良く管理している

C: 時々管理している

D: ほとんど管理していない

D-1: 利用していないため

D-2: 管理人の不足

D-3: 管理場所の不足

D-4: 管理経費の不足

(注) ○印は、次表不足部品リストに掲載の機材

(2) 不足部品リスト調査表

年度

AÑO
Nº
※Cantidad
(数量)Nombre de Maquinaria
(機 械 名)Falta de Repuestos
(不 足 部 品)

(1975)

1

Tractor Model: L-185
DTP

4

Connecting rod

2

Complete sets of pistons, rings and shirts.

2

Complete sets of metals for connecting rod and bench.

2

Complete sets of valves for admission and escape.

1

Complete set of gears for gear box and transmission.

1

Crankshaft

1

Axle

2

Complete sets of springs for valves.

2

Complete sets of tires.

17

Power Tiller
Model: K 75XL

2

Connecting rod

3

Complete sets of pistons, rings and shirts.

3

Complete sets of metals for connecting rod and bench.

3

Injection pumps.

3

Complete sets of valves for admission and escape.

2

Complete sets of gears for gear box and transmission.

3

Complete sets of tires.

19

Power Tiller
Model: T 620- EN

2

Connecting rods.

3

Complete sets of pistons, rings and shirts.

3

Complete sets of metals for connecting rod and bench.

3

Complete sets of valves for admission and escape.

2

Complete sets of gears for gear box and transmission.

※番号は別紙 1. 4.(2)の番号と同じ

1
2
Carburetor.
Complete sets of tires.

28 Station Wagon
Model: WPL 330 VT -11

2
10
Wind shield (front glass)
Filter oil.

(1979)

20 Mini-Micro Bus Datsun
Model: 51ZGQLC 340 C

2
1
1
1
Wind shield (front glass)
Complete set of shirts, rings and pistons.
Complete set of metals for connecting rods and bench.
Injection pump.

21 Truck Datsun
Model: USL 720 T

2
1
1
1
Wind shields (front glass)
Complete set of shirts, rings and pistons.
Complete set of metals for connecting rods and bench.
Injection pump.

(3) 資・機材要請リスト

MATERIALES Y EQUIPO PARA LA ESTACION EXPERIMENTAL GRANJERA "LAS BRUJAS"
 (ラスバルハス農業試験場に対する資・機材)

Investigation and
Laboratory equipment

1	Electron microscope with complete sets of accesories.	1 unit	A
2	Ultra-think section microtome	1 unit	A
3	Vacuum evaporator	1 unit	A
4	Stereoscopic microscope zoom Nikon with complete sets of accesories, lens, eyepieces micrometer and illuminator	1 unit	A
5	Centrifuge Box type 4000- 5000 rpm 50 ml x 8	1 unit	A
6	Refrigerator 250 lts	3 units	1 unit A 2 units C
7	Constant water bath 20- 80°C \pm 1°C. W 45 x D 35 x H 30 cm	1 unit	A
8	Low temperature water bath W 30 x D 25 x H 23 cm	1 unit	B
9	High pressure steam sterilizer	1 unit	A
10	Hotair sterilizer	1 unit	A
11	Magnetic stirrer 100- 300 ml with 2 standar bars for each size and additional bars: 4 little type, 4 medium type, 4 large type.	2 units	A
12	Hot plate magnetic sitirrer 100- 300 ml (spare parts)	1 unit	C
13	Drying shelf	3 units	A
14	Freezer -40°C for virology works, vertical type	1 unit	A
15	High power stirrer 10- 1.400 rpm, with cooling cup	1 unit	A
16	Automatic clinical microtome for paraffin or celloiding sections, with 10 spare microtome knives and freezing chamber.	1 unit.	A
17	Analitical balance, direct reading similar Kiyás Catalog N° 5, model 1010 -B.	1 unit.	A
18	Stirring apparatus for test tubes up to 40 mm in diameter.	1 unit	A

19	Calculator, scientific programe type	3 units	2 A 1 C
20	Carbasus absorbens, white cross brand, each 30 cm x 10 m.	20 units	A
21	Poliestirene micro-titre plate, W 125 x D 85 mm, 96 of 6 mm in diameter and fondo plano.	100 units	A
22	Petri dishes, diameter 60 mm	50 units	A
23	Stainless steel pieces 25 x 25 x 0,9 mm	500 units	A
24	Cover -glass 76 x 26 x 0,15 mm	2000 units	A
25	Tally counter	5 units	A
26	Disposable micro-pet	2 units	B
27	Pipettes boxes stainless steal, 12,5 inches.	5 units	A
28	Pipettes boxes stainless steal, 14,5 inches	5 units	A
29	Pipettes boxes stainless steal, 16 inches	5 units	A
30	Funnels, separatory, globe, glass stoppered and grindings:		
	30 ml	5 units	A
	60 ml	5 units	A
	125 ml	5 units	A
	250 ml	5 units	A
31	Teflon tubes homogenizer or stirrer of 20 ml	50 units	A
	" " " " " " 100 ml	50 units	A
32	Centrifuge tubes, conical, ungraduated, Pyrex or similar, diameter 27 mm., length 100 mm	50 units	A
33	Culture tubes, diameter 30 mm, length 200 mm	500 units	A
34	Burners, blast, gas (propane) and air.	1 unit	A
35	Sets of Tetron spraing tube of 1.8 mm in diameter, ±1 m in length and lead-terminal piece (for use in greenhouse)	6000 sets	A
36	Poliethylene chloro vinyl pipe, approximate diame- ter 127 mm and union sockets T-type, L- type and normal type.	350 m	A

37	Ampoules 2 ml, glass	300 units	A
38	Hydrion pH test papers, short range, with 2 color chart:		
	- range 1.2 - 2.4	3 rolls	A
	- range 1.4 - 2.8	3 "	A
	- range 3.0 - 5.5	3 "	A
	- range 3.4 - 4.8	3 "	A
	- range 4.8 - 6.7	3 "	A
	- range 4.5 - 7.5	3 "	A
	- range 5.2 - 6.6	3 "	A
	- range 5.6 - 6.8	3 "	A
	- range 6.0 - 8.0	3 "	A
	- range 6.8 - 8.4	3 "	A
	- range 7.2 - 8.8	3 "	A
	- range 8.0 - 9.5	3 "	A
	- range 8.2 - 9.8	3 "	A
	- range 9.0 - 10.0	3 "	A
	- range 9.0 - 12.0	3 "	A
	- range 9.2 - 10.6	3 "	A
	- range 10.0 - 12.0	3 "	A
	- range 10.2 - 12.0	3 "	A
	- range 11.8 - 13.4	3 "	A
39	Cellophane tubing -seamless 24/32 inches - 100 ft.	5-rolls	A

Chemical products

1	Acid fuchsin	25 gr	A
2	Amonium nitrate	500 gr	A
3	Amylacetate	500 gr	A
4	Adjuvant complete Freund, Bacto 10 ml x 6	500 gr	A
5	Bentonite N° 6.000	1000 gr	A
6	Bromothymol-blue	1000 gr	A
7	n-butanol	1000 gr	A
8	Chromium trioxide	200 gr	A
9	Canada balsam, neutral	500 gr	A
10	Collodion	500 ml	A
11	Calcium nitrate	500 gr	A
12	Calcium chloride, dehydrate	1000 gr	A
13	Copper (II) sulfate, anhyd.	500 gr	A
14	Cobalt chloride	200 gr	A
15	Ca -panthothenate	25 gr	A
16	Calcium hypochloride	1000 gr	A

17	Crystal violet	50 gr	A
18	Cotton blue	25 gr	A
19	Cystcine-HCl	25 gr	A
20	Dibasic sodium phosphate, anhyd.	1000 gr	A
21	Disodium ethylenediamine tetracetate, dehydrate	500 gr	A
21	Daiflon solvent S3	500 ml	A
22	Driselase	50 gr	A
23	Dextrose, anhyd.	500 gr	A
24	Ethy ether	5 lt	A
25	Ethylenediamide (EDTA)	500 gr	A
26	Ethylene dichloride	100 gr	A
27	Ethylene diaminetetraacetate	200 gr	A
28	Ferric sulfate	500 gr	A
29	Formvar	25 gr	A
30	Glycine (aminoacetic acid)	250 gr	A
31	Glycerol	500 gr	A
32	Hematoxylin	25 gr	A
33	Iron (III) ammonium sulfate	500 gr	A
34	Iron (II) sulfate	500 gr	A
35	Iron (III) sulfate	500 gr	A
36	Indoleacetic acid (IAA)	5 gr	A
37	Kinetin	100 mgr	A
38	Lactose	500 gr	A
39	Lactic acid	500 gr	A
40	Methyl orange	25 gr	A
41	Merzonin (Sodium ethylmercurithiosalicylate)	50 gr	A
42	Molybdic acid	25 gr	A

43	Myo-Inositol (Inositol)	25 gr	A
44	Neoprene W 2% solution in toluene	100 gr	A
45	Naphthaleneacetic acid (NAA)	25 gr	A
46	Nicotinic acid	25 gr	A
47	Pyridine	500 gr	A
48	Pyrrolidine	25 gr	A
49	Paraffin, liquid	100 ml	A
50	Paraffin 42-46°C	500 gr	A
51	Paraffin 60°C	500 gr	A
52	Paraffin 70°C	500 gr	A
53	Picrid acid	25 gr	A
54	Parlodion	500 ml	A
55	Phosphotungstic acid (PTA)	25 gr	A
56	Potassium dehydrogen phosphate	500 gr	A
57	Potassium iodide	500 gr	A
58	Pyridoxine - HCl (Vit. B 6)	5 gr	A
59	Phloxine (Eosin 10 B)	25 gr	A
60	Polystyrene 0,8 micron	100 gr	A
61	Sodium thioglycolate	25 gr	A
62	Calcium carbonate	500 gr	A
63	Casamino acid	1/4 lb	A
64	Silica gel blue, big grande	2 kg	A
65	Silica gel blue, middle granule	2 kg	A
66	Sodium sulfate	1 kg	A
67	Sodium borate	1000 gr	A
68	Sodium phosphate, monobasic	500 gr	A
69	Saccharose	500 gr	A

70	Sucrose, refined	5 kg	A
71	Sodium molybdate	100 gr	A
72	Sodium sulfite	500 gr	A
73	Polyvinyl pyrrolidone	500 gr	A
74	Streptomycin sulfate	10 gr	A
75	Sodium Ascorbate	50 gr	A
76	Thiamine- HCl (Vit. B1)	25 gr	A
77	Thioglycol (2- mercaptoethanol)	100 gr	A
78	Tris hydroxymethyl aminomethane	50 gr	A
79	Triton X - 100	1 lt	A
80	Uranyl acetate	25 gr	A
81	Urea G.R.	2 kg	A
82	Virazole (1, Beta- D- Ribofuranosyl - 1, 2, 4 - Triazole- carboxamide- Ribavirin)	100 gr	A
83	Zinc sulfate	1 kg	A
84	Zinc sulfate, anhydrous	1 Kg	A
85	Hyponex	50 kg	A
86	Soil conditioning material: Landscape (made by Reynolds Co. and imported in Japan by Rocon Enter- prise, 4- 7 Sabura Gawa, Naniwa -Ku, Osaka -Shi).	50 lt	A

Photographic Equipment

1	Photographic camera lens (Nikon) : 55 mm f 3.5	1 unit	A
2	Extension rings set for photographic camera	2 unit	A
3	Illumination equipment for artificial light for laboratory purpose, with spare lamps. (two lamps type), with stand.	2 units	A

Farm machinery

1	Tractor 15 HP L- 185 DTP	1 unit	C
2	Hand tractor 7 HP, diesel	2 units	A

Farm Management Facilities and Implements

1	Glasshouse 300 m ² for breeding in vegetables and potato purpose, with temperature control (heating and cooling system)	1 set	A
2	Prefab pipe house 500 m ² vinyl house spare vinyl	2 sets	1 set A 1 set B
3	P V C film bobbins: for mulching 0,03 mm 1.35 x 100 m	20 units	A
	for tunnels 0,075 mm 1.80 x 100 m	20 units	A
	for greenhouse 0,150 mm x 100 m	20 units	A
4	Soil sterilizing injector	2 units	B C
5	Dust-proof deodorizing mask antigas mask deodorizing filter spare	24 pcs 48 pcs	A
6	Motor powered sprayer, MD 150, with spare parts and accesories	4 units	2 A 2 C
7	Hand refractometer	2 units	A
8	Pressure meter	2 units	A
9	Measure tape, 30 m	3 units	A
10	Pots, plastic, 12 cm in diameter	1000 units	A
11	Pots, plastic, 16 cm in diameter	1000 units	A

12	Balance, 20 kg, for field jobs	2 units	A
13	Polyfilm, white, for mulching, size: 0.03 mm 1,35 x 100 m	40 bobbins	A
14	Vinyl, white, size: 0,05 mm - 1.80 x 100 m	40 bobbins	A
15	Silver politow film. Size: 0,07 mm - 1.80 x 100 m	15 bobbins	A
16	Sowing machine for vegetables seeds, for experimental purpose		

Office equipments

1	Electric typewriter English and Spanish combined	2 units	1 A 1 C
2	Heavy duty dry vac for heavy duty jobs	1 set	A
3	Dry-vac, domestic type	1 set	A

Tools

1	Electric driller with stand for table use for 20 mm drills for heavy duty jobs.	1 unit	A
2	Electric circular saw, portable type, with guide, to cut boards up to 25 mm deep.	1 unit.	A
3	Electric hand belt sander, for wood, portable type.	1 unit	A
4	Anvil for heavy iron works.	1 unit	A
5	Power hack saw to cut iron up to 75 mm	1 unit	A
6	Tools set for carpenter work.	1 set	A
7	Pipe stock to make screws on iron pipes, up to 100 mm	1 unit	A
8	Heavy-duty bench vise N° 6 for heavy duty jobs.	1 unit	A

Spare parts

1	Glass materials set for "autostill"	1 set	A
2	Halogen lamps for machine RICOH DT- 850	5 units	A
3	Projection lamps for slide projector ELMO AS- 3000 A	10 units	A
4	Lamps for Sunlight style incubator	10 units	A
5	Lamps for Sunlight style low temperature incubator	10 units	A
6	Lamps for clean bench	10 units	A

PRIORITY :

A = high

B = secondary

C = low

MATERIALES Y EQUIPOS PARA LA ESTACION EXPERIMENTAL LITORAL NORTE

(PEDIDO 1981)

(リトラルノルテ試験場に対する資・機材)

Laboratory equipment

1.	Microscope Olympus B H A 333- LB	1 unit	A
2.	Hematocitometer	1 unit	B
3.	Automatic clinical microtome for paraffin or celloidin sections, with 10 spare microtome knives.	1 unit	C
4.	Balance from 0,2 - 20 gr	1 unit	A
5.	Balance from 2,0 - 500 gr	1 unit	A
6.	Autoclave, Chamberlain Type, cap. 50 lt.	1 unit	A
7.	Dry-Air oven, up to 200°C	1 unit	A
8.	Low temperature incubator: - 10 - 60°C	1 unit	A
9.	Filter paper sheets 11 cm in diameter	1000 units	C
10.	Filter paper sheets 13 cm in diameter.	1000 units	C
11.	Pipette washer apparatus	1 unit	B
12.	Magnetic stirrer: 100- 300 ml with 2 bars of each type.	1 unit	C
13.	Pure water maker: cap. 2 lt./hour.	1 unit	B
14.	Slide glass, size: 76 x 26 x 1 mm	5000 units	C
15.	Cover glass, size: 18 x 18 x 0,15 mm	5000 units	C
16.	Test tuber, size: 180 x 18 mm "Pyrex" type.	500 units	A

Petri dishes:

17.	size: 9 x 2 cm	150 units	A
18.	size: 9 x 1 cm	150 units	A

Funnels, glass, size:

40.	16 cm	5 units	A
41.	8 cm	5 units	A
42.	4 cm	5 units	A

Pipettes, glass, graduated, cap.:

43.	1 ml	20 units	A
44.	2 ml	20 units	A
45.	5 ml	20 units	A
46.	10 ml	20 units	A
47.	Culture tubes, size: 30 x 200 mm	100 units	C
48.	Cedar Wood oil	50 gr	A
49.	Lactic acid	500 gr	A
50.	Glycerine	2 lt	A
51.	Sacharose	5 kg	A
52.	Formaldehyde	5 lt	A
53.	Cotton blue	25 gr	A
54.	Sudan III	25 gr	A
55.	Glucose	1 kg	A
56.	Agar-Agar	5 kg	A
57.	Dextrose	500 gr	A
58.	Magnesium sulfate	100 gr	A
59.	Potassium nitrate	100 gr	A
60.	Peptone	100 gr	A
61.	Potassium fosfate, Monobasic	100 gr	A
62.	Sodium nitrate	100 gr	A
63.	Potassium chloride	100 gr	A

Erlenmeyer flasks cap.:

19.	125 ml	30 units	A
20.	250 ml	30 units	A
21.	500 ml	10 units	A
22.	1000 ml	10 units	A
23.	2000 ml	5 units	A

Glass cylinder, graduated, cap.:

24.	30 ml	3 units	A
25.	100 ml	3 units	A
26.	500 ml	3 units	A
27.	1000 ml	3 units	A

Poliethylene cylinder, graduated, cap.:

28.	30 ml	3 units	A
29.	100 ml	3 units	A
30.	500 ml	3 units	A
31.	1000 ml	3 units	A

Beakers, glass, cap.:

32.	50 ml	25 units	A
33.	100 ml	25 units	A
34.	250 ml	25 units	A
35.	500 ml	25 units	A
36.	1000 ml	25 units	A

Funnels, plastic size:

37.	16 cm	5 units	A
38.	8 cm	5 units	A
39.	4 cm	5 units	A

64.	Iron sulfate	500 gr	A
65.	Magnesium sulfate	500 gr	A
66.	Neopeptone DIFCO	100 gr	A
67.	Potassium dicromate	500 gr	A
68.	Actidione (Cycloheximide)	100 gr	A
69.	Crystal violet	25 gr	A
70.	Triphenyltetrazolium chloride	2 gr	A
71.	Mercury (II) chloride	25 gr	A
72.	Iodine	25 gr	A
73.	Potassium iodide	25 gr	A
74.	Safranine	25 gr	A
75.	Phloxine B	25 gr	A
76.	Fuchsin acid	25 gr	A
77.	Congo red	25 gr	A
78.	Bengal Rose	25 gr	A

Farm equipment

1.	Measure tape; 50 MT long	2 units	A
2.	Balance; Max. cap. 0,5 kg	2 units	A
3.	Balance; Max. cap. : 20 kg, for field jobs.	2 units	A
4.	Soil thermometers for 0- 10 cm depth	12 units	A
5.	Soil thermometers for 0- 20 cm depth	12 units	A
6.	Soil thermometers for 0- 30 cm depth	12 units	A
7.	Plastic pots; 12 cm in diameter	500 units	B
8.	Plastic pots, 16 cm in diameter	500 units	B
9.	Vinyl film for mulching : 0,03 mm - 1.35 x 100 mt	20 units	A

10.	Vinyl film for tunnels: 0,075 mm - 1,80 x 100 mt	20 units	A
-----	---	----------	---

Farm machinery

1.	Tractor 15 HP - L - 185 DTP	1 unit	A
2.	Fertilizer distributor, centrifuge type, for tractor, 3 points of support.	1 unit	A
3.	Rotary harrow FS 1000, for tractor, 3 points of support and cardan joint.	1 unit	A
4.	Plow 3865 for tractor of 15 PH	1 unit	A
5.	Disk harrow SD 16- 14, 140 cm wide	1 unit	A
6.	Manure distributor, centrifuge type, for tractor, model BC 150	1 unit	B
7.	Cultivator, 3 plowshares type	1 unit	A
8.	Trailer, with overturn, model DK 7 D	1 unit	A
9.	Hand tractor 7 HP diesel	1 unit	A
10.	Reversible plow	1 unit	A
11.	Rotary harrow	1 unit	A
12.	Hanging type hand sprayer with accesories	2 units	A
13.	Protection mask	5 units	A
14.	Multi-purpose power sprayer, hanging type; Model MD - 150 with spare parts and accesories.	2 units	A
15.	Pipe- house.	1 unit	A

Office equipment

1.	Electric calculator for 220 V	2 units	A
2.	Typewriter	1 unit	B

Note

A = high priority
 B = secondary
 C = low